

表紙から始まる「新しい国語」の世界

出会い、成長、旅立ち——。一人一人に濃密な三年間を。



長く大切にしたいと思える教科書を

イラストレーター げみ

このたび教科書の表紙を担当させていただきました。イラストレーターのげみと申します。「これまででない国語の教科書を目指したい。」という東京書籍さんの強い想いを受け、長く大切にしたいと思える美しい教科書をいちばんに目指して表紙を作りました。

一年では、「新たな学生生活へのワクワク感」を、桜を象徴的に描くことで表現し、「さまざまな出会い」を、たくさんの人が擦れ違う横断歩道に少年少女が立つ姿で表現しました。希望に満ちた、光あふれる一枚になったと思います。

二年では、「どんなときでも自分の視点で楽しむ心と目」を、天気の良い日も見つけてほしいという願いを込めて描

き、その「心と目を持って新しい自分へ」という一歩を踏切で表現しました。教科書には珍しい、静かな雨の絵になったと思います。

三年では、「どこまでも続く広い未来への希望」を、広大な海と空を描くことで表現し、中学校三年間で身につけた「波にも負けない強い意志」を大きな岸壁で表現しました。強く爽やかな未来を感じる一枚になったと思います。

三年間を通して、この教科書を手に学んでくれている姿を想像しながら、時代に左右されない長く愛されるような絵を目指して描きました。皆の人生の思い出に残る三冊になってくれればと願っています。

